

新庁舎建設団体（グループ）懇談会 概要報告

1. 実施形式

市内で活動する団体を対象とし、申込みのあった団体ごとに市担当から新庁舎建設基本構想とこれまでの取組について概要を説明し、意見交換を行った。
 （市役所の他、団体が希望した会場にて実施）

2. 実施期間

6月10日（月）～7月31日（水）（実施団体：10団体）
 ※日程調整の結果、1団体は期間外に実施

3. 各団体及びその主な意見の概要

※連合団体は構成団体数を記載

団体※	主な意見
(A) 恋ヶ窪駅周辺 地域の団体 (参加：17人)	<ul style="list-style-type: none"> ・増税等，市民に財政的な負担を生じさせないように計画性を持って検討すべきである。 ・災害時には泉町に国分寺消防署と一極集中するよりは，現在地との2か所に対応した方がよいのではないか。 ・恋ヶ窪地域の住民としては近い現在地が良い。 ・市報だけでなく広く市民に届くような周知をしてもらいたい。
(B) 全市的団体 (参加：27人)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設候補地について，ランニングコストなど総合的に比較して市民に公開して決定すべきである。 ・市内に総合病院が無いので，泉町都有地であれば都立多摩総合医療センターが近く良いのではないか。 ・駅からの距離では現庁舎用地の方が建設候補地として良いのではないか。 ・泉町都有地周辺への一極集中により周辺地域が衰退することのないように考えてもらいたい。
(C) 西国分寺駅周辺 地域の団体 (参加：6人)	<ul style="list-style-type: none"> ・いずみプラザの近さ，消防署との隣接など，災害対応の点では泉町都有地が良いのではないか。 ・事業費の比較について，泉町都有地の購入費という支出だけでなく，資産の増加も記載すべきではないか。また，現庁舎用地では想定額のない増額要因があるなど，金額での比較が難しい。 ・2か所の建設候補地周辺以外の市民にとっては，どちらに決まるにしても合理的な判断を求めていると思う。
(D) 西国分寺駅周辺 地域の団体 (構成2団体) (参加：13人)	<ul style="list-style-type: none"> ・泉町都有地に新庁舎を建設する場合，西国分寺駅東口（南北自由通路有り）の開設と，新庁舎建設に合わせた周辺まちづくりの検討を要望したい。
(E) 全市的団体 (障害者関連) (参加：3人)	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎には，視覚障害者のための音声の録音作業なども可能な部屋を整備してもらいたい。 ・新庁舎の建設候補地は，メンバーが集まりやすい現庁舎用地が良いと考えている。 ・バリアフリーに配慮した新庁舎を建設してもらいたい。

<p>(F) 全市的団体 (障害者関連) (構成4団体) (参加:11人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・泉町所有地に新庁舎を建設する場合、駅から遠くなるので障害者のアクセスを考慮してもらいたい。 ・障害者に関する問題も多様化しており、現在の分散庁舎ではその対応に支障があると感じているので、泉町所有地に新庁舎が建設されれば、いずみプラザ内の課とも連携がしやすくなるのではないかと。 ・障害者団体の事務室を整備してもらいたいので、新庁舎に限らず庁舎機能の集約により空いたスペースも含めて柔軟に検討してもらいたい。
<p>(G) 全市的団体 (障害者関連) (構成11団体) (参加:6人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎において、多くの市民の目に留まるカフェ等を障害者の就労の場として整備してもらいたい。 ・新庁舎に導入する機能について今後も意見を言う機会を設けてもらいたい。
<p>(H) 全市的団体 (参加:5人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎用地周辺の住民の意見をまず吸い上げるべきである。 ・現庁舎用地が跡地となった場合の活用についてサウンディング型市場調査を実施することだが、市民にも意見を聞いて市民第一で考えるべきである。 ・泉町所有地に新庁舎を建設する場合、西国分寺駅南口からの武蔵野線のガード下を通るアクセスの改善が必要である。 ・新庁舎がどういう施設になるのかについて市民の意見を聞く機会を設けてもらいたい。
<p>(I) 全市的団体 (参加:5人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎用地に長く馴染みがある周辺住民にとっては、新庁舎移転により福祉機能も無くなってしまふ不安がある。 ・利便性や経済性など合理性を考慮して公共施設を一極集中すると地域格差が生まれる不安があり、それよりも地域ごとに魅力を発見できる施設があるような形が望ましいのではないかと。 ・新庁舎は交通アクセスを含めバリアフリーに配慮してもらいたい。 ・建設候補地を表明する際には、公共施設の再配置やまちづくりの構想も示してもらいたい。特に移転時に跡地活用が未定では問題である。
<p>(J) 恋ヶ窪駅周辺 地域の団体 (参加:7人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎用地での建替えの場合、泉町所有地や戸倉グラウンドを仮設庁舎の用地として利用しても市民に理解が得られるのではないかと。 ・現庁舎用地での建替えを希望するが、仮に泉町所有地に新庁舎を建設する場合も、現庁舎用地を有効活用して恋ヶ窪駅の乗降者数が今より増えるようにすべきである。 ・恋ヶ窪駅周辺の特に飲食店にとって、土日は賑わっているが来店客が少ない平日は新庁舎が移転してしまうとさらに減少してしまう恐れがあり、現庁舎用地での建替えを希望する。 ・泉町所有地に新庁舎を建設する場合、移転後に現庁舎用地の活用方法が決まるまで期間が空いてしまうと周辺地域としては困るので、建設候補地とセットで跡地活用について示すべきである。

【その他】全ての団体から、建設候補地を1か所に決定する時期を示してもらいたいとの意見があった。